

令和2年度 高校生建築デザイン コンクール

課題 / 「南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジに建つ北方型住宅」



ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2020

はじめに

道では、将来の建築技術者となる若年層の育成などを図るため、道内で建築を志す建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しており、今回で25回目となりました。

今年度は、北海道の気候風土に適した質の高い住宅として道が普及を進めている北方型住宅を設計課題として募集したところ、9校155人から144作品の応募がありました。

この設計課題では、夫婦2人に子どもが2人いる子育て世帯が住む、庭付き一戸建て住宅を想定しており、応募作品には南幌町の豊かな周辺環境を取り込んだプランや、子育て世帯の生活の移り変わりも踏まえたプランなど、高校生ならではの創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

厳正な審査の結果、最優秀作品賞をはじめ10作品が入選作品に選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

参加いただいた全ての皆様の学んだ経験が、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になることを期待しております。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただいた先生方をはじめ、共催いただいている(公社)日本建築家協会北海道支部、(一社)北海道建築士事務所協会、(一社)北海道建築士会の皆様には多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、応募いただいた高校生の皆様には、引き続き建築の勉強に励まれ、将来社会でご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

令和3年1月

北海道建設部建築企画監 長浜 光弘

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2020

審査総評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物などのデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。

今年度は、南幌町にある「みどり野きた住まいるヴィレッジに建つ北方型住宅」を設計課題として募集したところ、144作品という多くの応募がありました。この度は新型コロナウイルス感染症による制約が多い中、多くの関係者の多大なご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛況に開催することができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、きた住まいるヴィレッジのルールを踏まえた建物の内と外とのつながりを意識した様々な仕掛けのあるデザインなど、高校生らしい表現力豊かなエネルギーあふれる作品が数多く見られました。

審査にあたっては、「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「きた住まいるヴィレッジのデザインルールに沿っているか」といった観点から厳正に行い、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性にあふれたデザイン提案が数多くありました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

令和2年度高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 山口 元

令和2年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞（1作品）

阿部 大翔（北海道小樽未来創造高等学校 3年）

佳作（4作品）

鈴木 萌（北海道札幌工業高等学校 3年）

阿部 彩華（北海道小樽未来創造高等学校 2年）

天池 夏稀（北海道旭川工業高等学校 2年）

小野 朝陽（北海道留萌高等学校 3年）

優秀作品賞（3作品）

松村 里玖（北海道小樽未来創造高等学校 3年）

高橋 鉄三（北海道苫小牧工業高等学校 2年）

相原 柚奈（北海道函館工業高等学校 2年）

特別賞（2作品）

古山 和人（北海道小樽未来創造高等学校 3年）

金山 悠飛（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

紺野 青空（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2020

令和2年度高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の高等学校(建築系学科)に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

- 1 課題** 「南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジに建つ北方型住宅」
南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジに夫婦2人に子どもが2人いる子育て世帯が住む、庭付き一戸建ての北方型住宅を提案してください。
- 2 応募資格** 道内高等学校(建築系学科)に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面** JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
(1) 作品タイトル
(2) 設計主旨
(3) 配置図・平面図 1/ 00~1/150
(4) 断面図 1/50~1/100
(5) 立面図 1/50~1/100(面)
(6) スケッチ又は模型写真又は透視図
(7) 面積表
- 4 応募作品** 155名から144作品の応募
- 5 入選作品** 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作4作品 ・ 特別賞2作品
- 6 経過**

募集要項配布	令和2年 7月 3日
作品受付	令和2年 12月 15日まで
選定委員会	令和2年 12月 22日
作品展	令和3年 1月12日から 1月13日まで
- 7 選定委員**

十河 昌司	(公益社団法人日本建築家協会北海道支部 教育委員会教育委員長)
重網 博美	(一般社団法人北海道建築士事務所協会 業務・技術委員会担当副会長)
松本 純	(一般社団法人北海道建築士会まちづくり委員会副委員長)
唐川 智幸	(北海道教育庁学校教育局高校教育課長)
山口 元	(北海道建設部建築局建築整備課長)

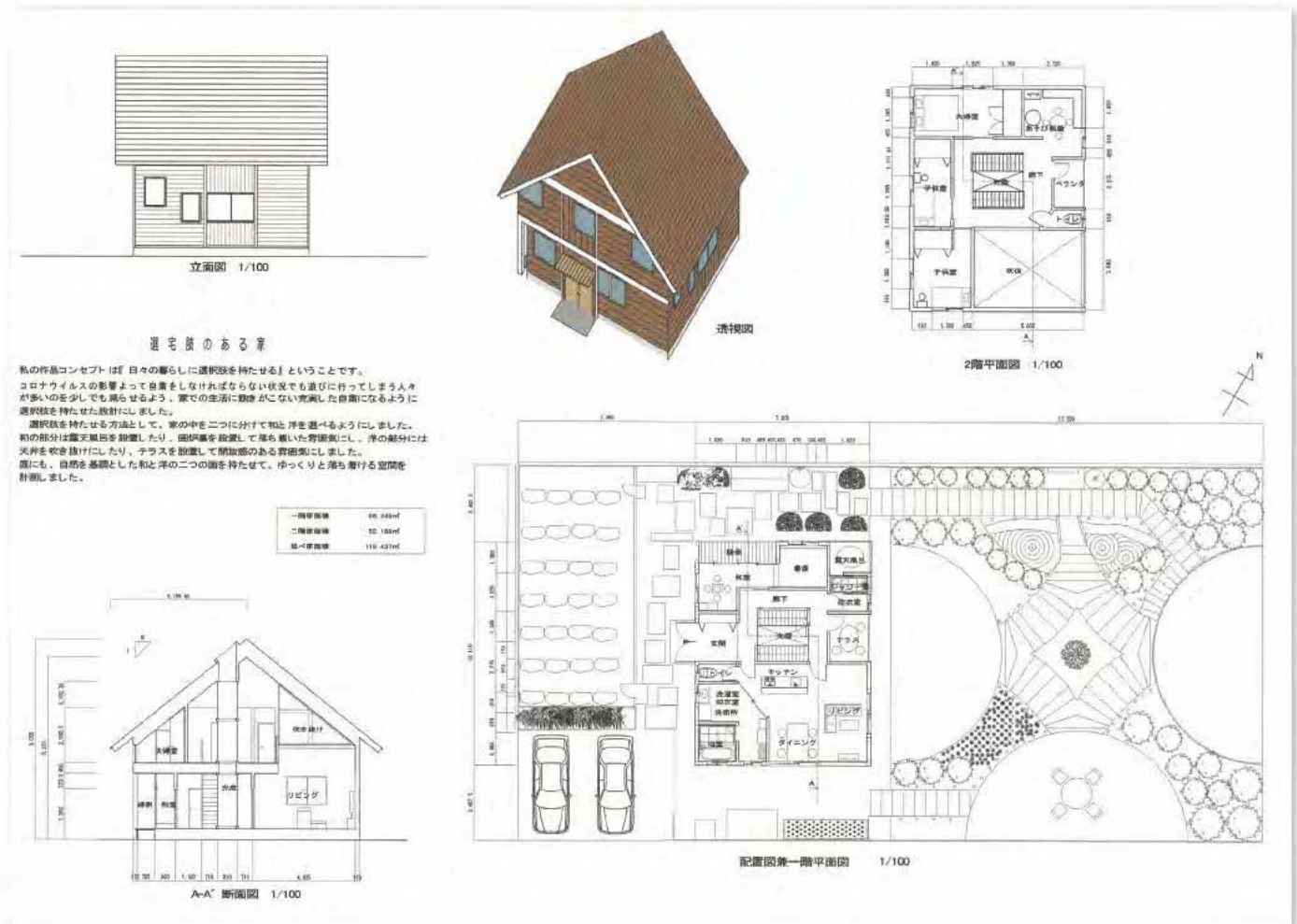


ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2020

入賞作品

最優秀作品賞

北海道小樽未来創造高等学校
阿部 大翔 (3年)



作品名 「選宅肢のある家」

設計趣旨

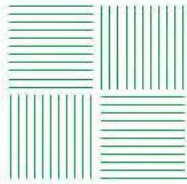
私の作品コンセプトは「日々の暮らしに選択肢を持たせる」ということです。コロナウィルスの影響によって自粛をしなければならない状況でも遊びに行ってしまう人々が多いのを少しでも減らせるよう、家での生活に飽きがこない充実した自粛になるように選択肢を持たせた設計にしました。

選択肢を持たせる方法として、家の中を二つに分けて和と洋を選べるようにしました。和の部分は露天風呂を設置したり、囲炉裏を設置して落ち着いた雰囲気にし、洋の部分には天井を吹き抜けにしたり、自然を基調とした和と洋の二つの面を持たせて、ゆっくりと落ち着ける空間を設計しました。

審査講評

全方位に開放した平面計画に力量を感じる。シンプルな外観ながら光庭を取り囲む部屋の配置が良く、採光を取り入れつつ外部空間を室内に取り込む仕掛けが高く評価された。

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2020



優秀作品賞

北海道小樽未来創造高等学校
松村 里玖 (3年)



作品名 「prairie house」



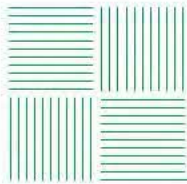
設計趣旨

「南幌町の豊かな自然を生かした住宅」というテーマを実現するため、「自然との調和」を図るプレーリースタイルを使用し、南幌町の豊かな自然を最大限に生かした住宅を目指しました。プレーリースタイルとは、水平面を強調し、建物の高さを抑えることで、建物が大地に溶け込むような一体感を出し、自然との調和を図る建築様式であり、この住宅もその特徴を色濃く反映しています。建物自体の高さを抑え、屋根勾配も極力小さくし、窓や玄関ドアなどの随所にも水平を強調するような模様を施しています。また、外壁材には木材や石材など、異なる素材を使用し、柱やテラスなどを強調したデザインにしており、建物に一体感を持たせるようにしました。



審査講評

玄関へのアプローチを長くすることにより想定敷地も取り込み、室内からの見え方、空間的に豊かさを感じさせ デザイン及びプランの仕上がりがレベルの高さが評価された。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校
高橋 鉄三 (2年)



作品名 「展望の家」



設計趣旨

自然に囲まれた大地の中で朝日から夕日までの太陽の日差しを取り込む多目的プレールームを2階に設け 夜は、満点に輝く星を展望ドームから眺める家を提供する。2階の子ども部屋のプレールーム側の壁に内窓を付けやわらかな採光を得る。冬には、テラスに屋根の雪でドーム型のかまくらを作って遊ぶ。共有の隣接地にバーベキューの道具を保管出来る小屋やピザ窯を設けて交流をはかる。



審査講評

コンセプトが明確で、子どもにとってすごく楽しい空間となる作り込みや様々な仕掛けなど、豊かな表現力及びアイデアが評価された。